

経営比較分析表／団体全体（令和6年度決算）

大分県 杵築市

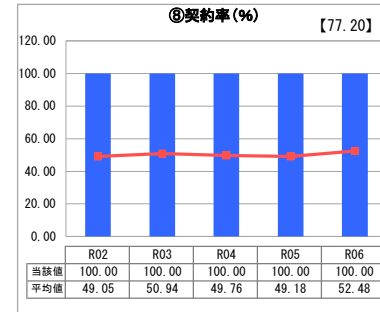
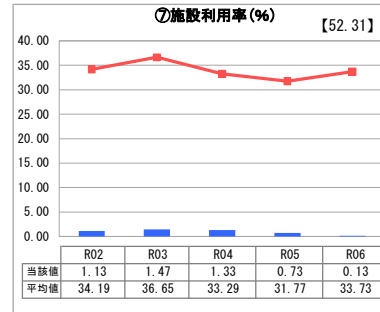
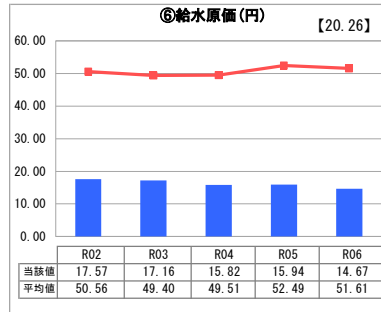
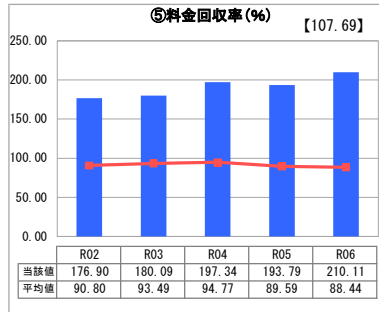
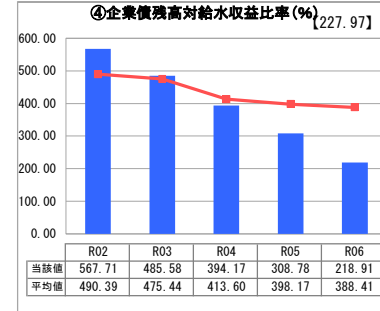
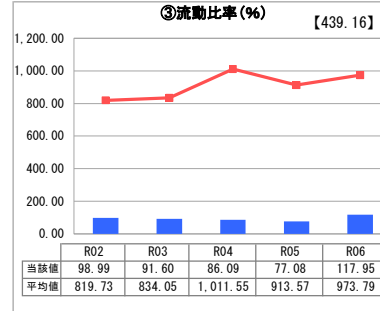
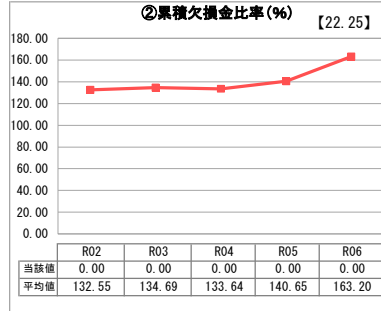
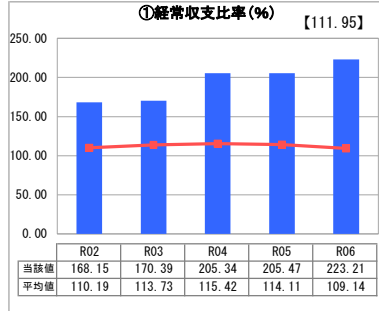
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m ³ /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m ³)
法適用	工業用水道事業	1,500	極小規模	1	2
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m ³ /日)	管理者の情報	
-	80.4	1	1,500	非設置	

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

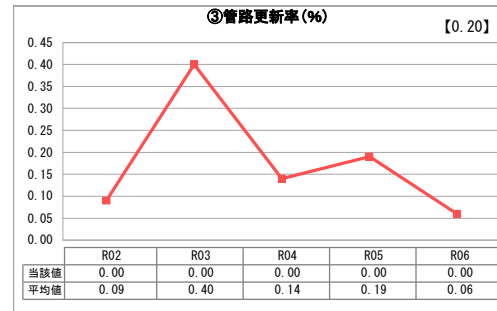
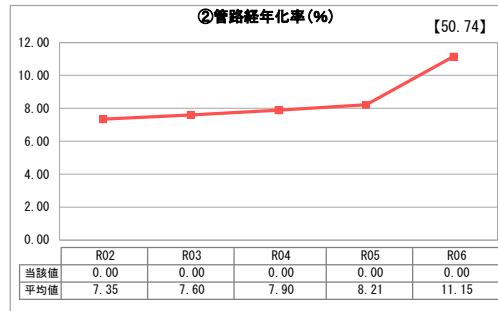
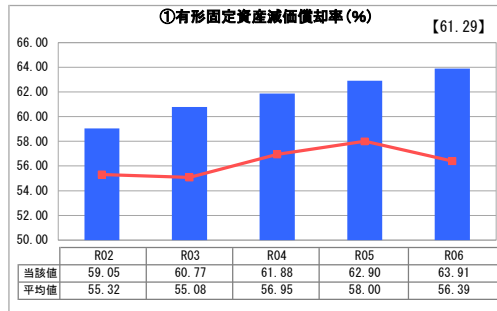
1. 経営の健全性・効率性について

- ①『経常収支比率』…経常費用が経常収益でどの程度賄われているかを表す指標。100%を上回っており、健全な経営状況にあるといえます。
- ②『累積欠損金』…累積欠損金は、発生しておらず、良好な状態にあります。
- ③『流動比率』…流動負債に対する流動資産の割合で、短期債務に対する支払能力を表す指標。R5までは年々増減し、100%を下回る状態に至っていましたが、企業債の償還が進み流動負債が減少したことから上昇しています。
- ④『企業債残高対給水収益比率』…給水収益に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標。類似団体平均値より下回っており、比率は年々減速しています。
- ⑤『料金回収率』…給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表した指標。100%を上回っていることから、必要な経費を給水収益で賄えているといえます。
- ⑥『給水原価』…有収水量1mあたりについて、どれだけ費用がかかっているかを表す指標。類似団体平均値と比べて低く抑えられています。
- ⑦『施設利用率』…配水能力に対する配水量の割合で、施設の利用状況を判断する指標。ユーザーが1社であり、当該ユーザーの経営環境の変化に大きく左右されますが、近年は低い水準で推移しています。
- ⑧『契約率』…収益性及び未売水の状況を判断する指標。類似団体平均値に比べて高い水準で推移しており、良好であるといえます。

2. 老朽化の状況について

- ①『有形固定資産減価償却率』…有形固定資産のうち、償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標。近年は新たな設備の整備や更新が行われていないことから、比率は年々増進しており、類似団体平均値と比べて高い水準で推移してきています。
- ②『管路経年比率』…法定耐用年数を超えた管路延長の割合を表す指標。現在、法定耐用年数を超えた管路はありません。
- ③『管路更新率』…当該年度に更新した管路延長の割合を表す指標。法定耐用年数を超えた管路がないため、更新は発生していません。

2. 老朽化の状況



全体総括

実使用水量が契約水量に比較して少ない場合でも減額されない「責任水量制」を採用していることから、現時点では、経営の健全性、施設の効率性は概ね確保されているといえます。しかしながら、近年の人員費の増加や物価高騰などによりあらゆる経費の増加が見込まれます。また、施設の老朽化が進んで来ているため、必要に応じた修繕や施設更新の計画が必要となってきます。さらに、人材確保が困難になってきている技術職員の確保と育成にも努めていく必要があります。ユーザーの水需要は低水準であり、ユーザーの動向を注視する必要があります。今後は施設規模の見直しを含め検討し、財源確保や計画的な施設更新を図り、安定的な経営の継続に努めます。